

令和6年度上半期

村山市水道事業業務状況説明書

令和6年4月 1日 から

令和6年9月30日 まで

山形県村山市

目 次

1. 事業の概要	3
2. 経理の状況	4
3. 令和5年度の決算の状況	6

1. 事業の概要

(1) 工事施行状況

①自然災害による断水に備えるため、幕井水源を利用した緊急時浄水施設の建屋工事、着水井及び浄水槽工事、浄水施設本体工事を行っています。

②安定供給のために、楯岡新町・河島・基点・林崎・袖崎地区の老朽管更新工事や、駅西地区において送水管移設に係る不断水分岐及び弁設置工事を行っています。

③定住促進のために、次世代まちづくり開発促進事業（民間宅地開発への補助事業）に伴って、楯岡鶴ヶ町地区において配水管の新設工事を行っています。

(2) 業務状況

令和6年度上半期の給水普及状況は、給水戸数7,733戸、給水人口21,359人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、令和6年度上半期における配水量は1,345,900 m^3 、有収水量は1,070,381 m^3 で、有収率は79.5%です。

(令和6年9月30日現在)

区 分	令和6年度 上半期	令和5年度 上半期	対前年度	
			増 減	増減率
1. 行政区域内人口(a)	21,385 人	21,845 人	△ 460 人	△ 2.1 %
2. 給水人口(b)	21,359 人	21,819 人	△ 460 人	△ 2.1 %
3. 給水戸数	7,733 戸	7,772 戸	△ 39 戸	△ 0.5 %
4. 給水栓数	8,735 栓	8,779 栓	△ 44 栓	△ 0.5 %
5. 普及率(b/a)	99.9 %	99.9 %	0 %	—
6. 上半期配水量(c)	1,345,900 m^3	1,377,160 m^3	△ 31,260 m^3	△ 2.3 %
7. 1日平均配水量	7,355 m^3	7,525 m^3	△ 170 m^3	△ 2.3 %
8. 上半期有収水量(d)	1,070,381 m^3	1,116,584 m^3	△ 46,203 m^3	△ 4.1 %
9. 1日平均有収水量	5,849 m^3	6,102 m^3	△ 253 m^3	△ 4.1 %
10. 上半期有収率 (d/c)	79.5 %	81.1 %	△ 1.6 %	—

2. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業収益	625,065,000	283,443,497	－	283,443,497
第1項 営業収益	562,941,000	280,763,753	－	280,763,753
第2項 営業外収益	60,397,000	1,893,289	－	1,893,289
第3項 特別利益	1,727,000	786,455	－	786,455

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業費用	624,756,000	136,773,059	－	136,773,059
第1項 営業費用	602,989,000	133,320,328	－	133,320,328
第2項 営業外費用	20,647,000	3,442,050	－	3,442,050
第3項 特別損失	120,000	10,681	－	10,681
第4項 予備費	1,000,000	0	－	0

(2) 資本の収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の収入	13,993,000	0	-	0
第1項 工事負担金	3,500,000	0	-	0
第2項 固定資産売却代金	20,000	0	-	0
第3項 他会計出資金	10,473,000	0	-	0

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の支出	988,113,000	40,169,329	-	40,169,329
第1項 建設改良費	923,326,000	7,922,037	-	7,922,037
第2項 企業債償還金	64,787,000	32,247,292	-	32,247,292

3. 令和5年度の決算の状況

(1) 総括事項

市民の快適な生活を支える安全な水を安定供給するために、老朽化した配水管や電気計装設備の更新工事、S*mile タウン俵町や民間の宅地開発に伴って配水管の新設工事を実施しました。

また、自然災害による断水に備えるため、幕井水源を利用した緊急時浄水施設整備事業を実施しています。

(イ) 工事施行状況

建設改良費の総額は 176,929,558 円で、うち配水設備改良費が 176,532,411 円です。

安定供給のために、東笛田・馬場・俵町・中町・中央・岩野地区の配水管更新工事、楯岡高区配水場の電気計装設備更新工事を行いました。

また、定住促進のために、S*mile タウン俵町や次世代まちづくり開発促進事業による鶴ヶ町・二日町・北楯・南新町地区の宅地開発に伴って配水管新設工事を行いました。

(ロ) 業務状況

令和5年度末の給水普及状況は、給水戸数 7,650 戸、給水人口 21,528 人で、普及率は行政区域内人口の 99.9%です。

また、年間配水量は 2,658,806 m³、年間有収水量は 2,148,060 m³で、有収率は 80.8%です。

(ハ) 経営状況

予算の執行にあたっては効率的な経営をめざし費用の節減に努力しましたが、給水収益は、給水人口の減少、大口需要者の使用水量の減少、全体的な節水風潮により、前年度比で 15,473,094 円減少しました。

その結果、収益的収支（消費税抜）は、総収益 570,161,984 円、総費用 566,867,384 円で当年度純利益が 3,294,600 円となりました。

一方、資本的収支（消費税込）は、収入総額 18,153,946 円、支出総額 255,753,036 円となり、差 237,599,090 円の収入不足が生じました。この不足額を過年度分損益勘定留保資金 222,793,658 円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 14,805,432 円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

令和5年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、人口減少に伴う給水収益の減少等により前年度比 0.9 ポイント減の 100.4%となりましたが、健全経営の水準とされる 100%を上回っています。